

# 桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## 第48回

2018年  
4月21日(土)  
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 戸山キャンパス 33号館 231号室

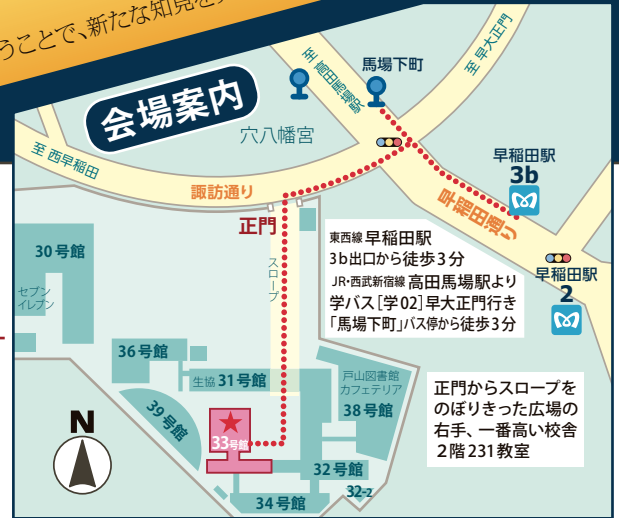
★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。

**参加無料**

☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



## 石坂幸子とモスクワ放送ハバロフスク放送局

元NHK女子アナウンサーが見た戦後直後のモスクワ放送日本語番組

報告者：島田 顕

### 彼女はなぜNHKからモスクワ放送へ行ったのか——

戦時中に、NHK樺太豊原放送局のアナウンサーを勤めた石坂幸子。  
彼女のモスクワ放送ハバロフスク放送局入局の経緯、活動、その後辿った人生を通して、戦後直後のモスクワ放送の実像、そしてその意義を明らかにする。

●島田 顕(しまだ あきら)

1965年横浜市生まれ。

ロシアの声(旧モスクワ放送、現国際情報通信社「ロシア・セヴォードニャ」)日本語課翻訳員兼アナウンサーを経て、関東学院大学経済学部講師、博士(社会学)。



石坂 幸子

## いわば、ポスト・ソヴィエト的芸術左翼戦線

報告者：八木 君人



《Башня Зонгшпиль》



《Жить долго умереть молодым》



《Нравится Москва》

### アート グローバル資本主義に対抗する運動

現在、グローバル資本主義に抗って、「社会主義」や「共産主義」をアップ・デートしようという動きは世界各地で見られます。それは、「現存する社会主義」の崩壊から四半世紀を経たロシアでも同様です。

この報告では、そうした運動の中から、ペテルブルクのグループ "Что делать?" を中心にとりあげ、「芸術の政治化」といえるようなポスト・ソヴィエト的左翼芸術活動を紹介したいと思います。

また、余力があれば、それら担い手が読み替える、ロシア・アヴァンギャルドのアクチュアリティについても考えてみたいと思います。

●八木 君人(やぎ なおと) 早稲田大学文学学術院准教授